

難病の方の就職支援

(難治性疾患患者雇用開発助成金)

難治性疾患患者雇用開発助成金は、平成25年4月に施行の「障害者総合支援法(障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律)」の中で施行されました。

障害者総合支援法により、従来の障害者の中に、制度の谷間に落ちていた、手帳を取得するに至らない難病患者の方を含める事により、障害福祉サービスが難病の方にも利用できるようになりました。

理解や配慮を求めづらい状況が続いてきました。

こうした難病の方の就職や職場定着への困難な状況への課題対策として、また雇用促進を図るためにも、難病がある方を雇用する事業主に対して、助成金を支給する制度です。

事業主は、難病の方を雇い入れることにより50万円から135万円の助成金を受け取る事が出来ます。

また、同時に雇い入れた労働者の勤務

対象となる方は、以下の通りです。

- ① 障害者手帳を所持していない難病のある方
- ② 難治性疾患克服研究事業のうち、臨床調査研究分野の対象疾患(130疾患)もしくは
進行性筋萎縮症(筋ジストロフィー)のある方
- ③ 週所定労働時間が20時間以上である方(※ハローワークからの紹介時点で失業中等(雇用保険の被保険者でないこと)が対象です。

難治性疾患患者雇用開発助成金は、その一環で制定されました。

難病の方は、その病状の特性から、仕事と体調管理の両立が必要になります。

しかし、昨今の就労事情とも相まって、難病であることをオープンにすると就職に不利になったり、会社で働きづらくなり、退職を余儀なくされたり、障害者手帳を取得したくないといった事情などから、職場での

状況や配慮した面などを報告する義務が発生します。

このように、難治性疾患患者雇用開発助成金は、難病のある方の就職を後押しする制度です。

会社には、難病であることをオープンにして雇用されるので、安心して働く事が出来ます。また、雇用されてから半年後にハローワーク職員が職場訪問を行い、職場定着をサポートします。

制度の利用や詳細については、ハローワークの専門援助部門または都道府県労働局にお問い合わせください。

* * * * *

難病をお持ちの方が、少しでも働きやすくするきっかけになるといいと思います。



<ひとこと>高校野球、海水浴、花火、すいか、、夏っていいですね。熱中症には注意です!

〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ
柏市地域生活支援センター あいネット
〒277-0004 柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内
TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709
HP: <http://ai-net.a.la9.jp/>
e-mail: ainet@kazenomura.jp

平成25年度 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会

平成25年度第1回の上記会議が6月27日に開催されました。

* 虐待対応状況 (平成24年度)

- ① 通報総数：昨年度以前に比べ数的には少ないが、受理をした数は昨年と同数あった。
- ② 通報者：警察からの通報が多くなっている。
- ③ 被虐待者の認知症：軽度から中程度である人虐待を受けている率が高い。
- ④ 虐待者は息子の割合が一番高い など

* 孤立介護や生活困窮という問題が多いという報告がありました。

* 高齢者緊急一時保護を実施したのは11件でそのうち虐待によるものが8件。

* 成年後見市長申立は、19件あり、柏市成年後見制度利用支援事業につながったものは11件。

利用支援事業は昨年に比べ2倍近い数字であり、今後も増えるのではないかと感じます。

また「老老介護」は知られているが、「老障介護」が潜在的課題としてあるのではないかと指摘につき意見交換がありました。

あいネットの相談でも、虐待の有無に関わらずこども(20~50代)が障害や病気を持っている場合が多いと感じます。引きこもり、経済的問題、家族関係など複数の課題を抱え込んでいるといったケースです。

また被虐待者に比べ、虐待者への支援は後回しになりがちです。当たり前ですが、虐待者も様々な思いや事情を抱えており問題の解消や軽減が必要ですから、虐待者にも早めに支援をしていくという体制を取ることが解決にも役立つのではないのでしょうか。

平成25年度柏市自殺予防対策連絡会議 ワーキンググループ会議(WG)



6月28日に行われた上記会議にあいネットも構成団体として出席しています。

平成25年度の労働WGとしての事業は、日本産業カウンセラー協会への委託による、市内中小企業への訪問です。その目的は経営者に対するメンタルヘルス、キャリア開発、職場の人間関係改善を通じて、自殺予防対策を進めるというものです。

商工会議所には専門相談制度があり、対応するようになってはいるのですが、実際は相談があまりなく、アウトリーチの必要があるために行うものです。

昨年度の振り返りでは

①相談場所や方法等に関する情報提供の充実、②的確なリファラーのための関係機関のネットワーク作りが必要。そのためには、③支援機関同士が意見交換会などによる情報共有と顔の見える信頼関係の構築、などが挙げられている。

それに触れた論議では、相談が曜日や時間が限定的だと相談しにくい人がいるのではないかと、相談の内容が多岐にわたる場合に、的確にリファラーができていないか、相談機関同士の連携は十分ではない、そのために必要なことは何か、などに議論が高まりました。

～相談機関の周知も大切なことですが、相談された人・事柄をきちんと捉え、内容に応じて必要な機関につなぐことができるかは、相談の質に関わる話だと思いました。～

お知らせ

◇こちらのコーナーへ掲載希望の方は、あいネット (電話: 04-7165-8707 FAX: 04-7165-8709)

講演名	日時	場所	費用	問合せ先他
森 康行 監督作品 映画: Workers みんなで働くみんなで生きる ～あたらしい働き方のはなし～ (上映時間 94分)	平成25年 7/27(土) ① 9:30(開場) 10:00(開演) ② 14:00(開場) 14:30(開演)	柏市民文化 開館・小ホール	1000円	【前売り券予約】 ワーカーズコープ東関東事業本部 TEL: 043-308-0620 主催: 一般社団法人日本社会連帯機構 東葛地域映画上映委員会

番外編

障害福祉サービス事業所 WITH US

かしら



主催は「社会福祉法人青葉会 設立準備会」。

平成26年4月、十余二学園及び柏育成園跡地の広い敷地に障害福祉サービス事業所 WITHUS が開業予定となり、その説明会に参加しました。50名ほどの参加者の中には、近隣の福祉サービス事業所や、保護者の姿が多く見られ、この事業への関心の高さが伺えました。

事業概要は下記へ記載しましたが、行動障害にも対応した、自閉症の方の地域生活を推進するため「都市型生活事業(住まいと日中活動)」及び総合的な「相談支援センター」を開設されるとのこと。地域に根ざして活動を続けてこられた、NPO法人自閉症サポートセンターとの協同だからこそ、幅広い障害者の地域生活を実現できる事業体を目指せるのだと思います。

<問合せ>

「社会福祉法人青葉会」設立準備会事務局

住所: 柏市松葉町6-11-8 NPO法人自閉症サポートセンター内

電話/FAX: 04-7197-4080

メール: info@aobakai.net

HP: http://aobakai.net/

<事業概要>

- ①生活介護事業(定員20名)
- ②就労継続B型(定員20名)
- ③就労移行事業(定員15名)
- ④共同生活介護事業(5棟 定員29名)
- ⑤短期入所(定員10名)

*会場からは、WITHUSへの利用を想定した質問(送迎、特別支援学校在学中の実習、職員体制など)が多く飛び交いました。質問や要望は法人内会議にて検討、回答していただけます。説明会は、今後も定期的開催される予定ですので、興味のある方は参加してみたいかでしょうか。

講演名	日時	場所	費用	問合せ先他
「障がい理解コンベンション2013 In ちば」 ①感動の共有 人と人が感動を共有して支え合う社会へ 講師: 登山家・栗城史多さん ②映画上映: 39窃盗団 ③映画上映: ぼくはうみがみたくなりました	①8/18(日) 13:00~14:45 ②8/18(日) 15:30~17:30 ③8/18(日) 18:00~20:00	けやきプラザ ふれあいホール	*①②③ 要予約 ①大人: 2000円 学生: 1500円 小中学生: 1000円(定員500名) ②大人: 1000円 学生: 800円 小中学生: 500円(定員500名) ③大人・小中学生: 500円(定員500名)	申し込み方法: WebもしくはFAXにて http://was-kashiwa@jimdo.com FAX: 04-7171-2978 主催: 障がい理解推進チームWa'S 協力: 千葉県発達支援センター(CAS) 後援: 千葉県 茨城県 柏市 取手市 問い合わせ先: 障がい理解推進チームWa'S (ワズ)代表: 大隣裕子 TEL: 090-3428-5328 MAIL: was-kashiwa@jcom.home.ne.jp